

## 情報公開文書

項 目	内 容
研究課題名	ペースメーカー留置術後の圧迫固定による皮膚トラブル軽減に向けた取り組み
研究の対象	2019年9月1日～11月31日の間にペースメーカー留置術を受けられた患者
研究の目的	当院での2019年度のペースメーカー留置術の件数は92件にのぼります。術後は創部に固定テープ（圧迫粘着包帯）を用いて圧迫止血を行っています。この圧迫止血はおよそ3日間にわたり圧迫固定を行うことにより、固定テープによるかぶれや水疱形成といった皮膚トラブルにつながる恐れがあります。2019年度はペースメーカー留置術において1年間で92件中36件（39.1%）の皮膚トラブルの発生がありました。この圧迫固定による皮膚トラブルに対して、圧迫固定テープ下にスプレータイプの皮膚保護剤（リモイス®コート）を使用することで皮膚トラブル軽減の効果を明らかにすることを目的としています。使用する皮膚保護剤は皮膚への刺激の少ないノンアルコール性で速乾性があり、スプレー散布後に通常の手順でテープによる圧迫固定ができます。
研究の方法	<p>本研究は、年齢、性別、体重、栄養状態（たんぱく、アルブミン）、ペースメーカー留置術後の皮膚トラブルの有無などのデータを収集し、皮膚トラブルの軽減の有効性を分析・評価していきます。本研究では皮膚トラブルの定義を発赤、水疱形成（水ぶくれ）、表皮剥離（皮膚がめくれる）、掻痒感（かゆみ）として選定しています。また患者の年齢・体重・栄養状態（たんぱく、アルブミン）をチェックします。</p> <p>2019年度の対象期間（9月～11月）にペースメーカー留置術を受けた患者を「皮膚保護剤使用前患者群」とし、看護記録でテープ圧迫固定解除後3日間まで遡り、皮膚トラブルが発生した患者を抽出する。</p> <p>また2020年度ペースメーカー留置術で圧迫テープ固定前に皮膚保護剤を使用した患者を「皮膚保護剤使用患者群」とし、両群の背景因子や皮膚トラブルについてt検定及び<math>\chi^2</math>検定を用いて群間比較する。</p>
研究期間	倫理審査委員会承認後 ～ 2021年3月31日
研究に用いる試料・情報の種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象患者の性別、年齢、体重、栄養状態（たんぱく、アルブミン）、ペースメーカー留置術後の皮膚トラブルの有無</li> <li>・研究期間内の圧迫テープ固定前に皮膚保護剤を使用していない皮膚トラブル件数と、皮膚保護剤を使用した場合の件数を比較し分析し、皮膚保護剤の有効性を算出。</li> </ul>
	<p>本研究に関するご質問、ご相談、苦情等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書および関連資料を閲覧することができますので、下記までお申し出ください。</p> <p>また試料・情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記連絡先までお申し出ください。その場合でも患者様の不利益が生じる事はございません。</p> <p>問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先          横浜医療センター          研究責任者：西6病棟CCU看護師 芝崎純平                            西6病棟看護師 今北裕子          問い合わせ先：045-851-2621（病院代表）          時間：平日9～17時</p>